

ベリーズ犯罪等発生状況（令和6年11月分）

[殺傷事件関連]

11月4日[殺人事件] 午前3時頃、ベリーズ市のフェイバース・ロード付近のジャガー・アベニューでタクシー運転手の男性（43歳）が刺殺される事件が発生した。警察によると、飲食店から出た後、男性と3人組の男性グループとの間で口論となり、ナイフで刺された。男性は逃げようとしたが、現場から少し離れたところで倒れ、KHM病院へ搬送されたが死亡が確認された。警察は男性グループの行方を捜索していたが、11月5日に警察関係者を含む4人を逮捕した。

11月5日[傷害事件] 午後、レディビル村のフィリップ・S・W・ゴールドソン国際空港敷地内で空港内の荷物係の男性が顔を刺される事件が発生した。刺された男性と同僚との間で口論が起こり、2人は治安素乱罪で起訴された。

11月7日[殺人事件] 午後9時頃、スタンクリーク郡インディペンデンス村で男性（28歳）が刺殺される事件が発生した。警察によると、男性は容疑者と口論の末、首を刺され死亡したとのこと。

11月8日[射殺事件] 午後1時頃、サンペドロ町のアンバーgris・キーのシークレット地区で男性（46歳）が数回撃たれる事件が発生した。男性はリベルタッド村の家族を訪ね、島に戻った際、その地域の管理人（27歳）に撃たれたとのこと。警察によると、男性その土地の所有者（国外逃亡したアメリカ人）との間の争いに起因しているとのこと。男性は労働者とのトラブルがあり、労働者や管理人の家族を脅したとされている。その結果、管理人が銃を取り出し発砲したとされる。

11月11日[銃撃事件] 午後11時半頃、コロザル町のフィンカ・ソラナ地区で警察署長及び警察警部の共同住宅で銃撃事件が発生した。4発の銃声が聞こえ、自宅から出るとバイクが走り去る音が聞こえたとのこと。被害はガレージに駐車されていたジープ、SUV、家の網戸で確認された。現場で9mmの薬莢を数個回収されている。これまでのところ容疑者は特定されておらず、動機も不明である。

11月20日[射殺事件] 深夜、ロアリングクリーク村にあるバーの外で男性（18歳）が撃たれる事件が発生した。報道によると、男性はバーで他の男性客（33歳）と口論になり、その場を離れ友人2人と一緒に車に乗り込んだ。男性が車で走り去ろうとしたとき口論となった男性が銃を持ち出し発砲し男性は致命傷を負った。その後、被害男性は病院へ搬送さ

れたが死亡が確認された。警察は発砲した男性を殺人罪で11月23日に逮捕、起訴したことを明らかにした。

11月25日[銃撃事件] リベルタッド村の自宅で男女2名が銃で撃たれ病院へ運ばれる事件が発生した。自宅にいた男性が犬の吠え声を聞き確認するため外に出たところ、数発の銃声が聞こえ男性が撃たれた。さらに犯人は女性に対しても発砲し、負傷させた。2人は幸い命に別状はなかった。犯人はバイクに乗った2人組であったという。

[強盗事件関連]

11月10日[窃盗事件] 深夜、サンイグナシ町の学校からプロジェクター17台、コンピューターPAシステム、現金が盗まれた大規模な窃盗事件が発生した。監視カメラには3人の男が身を隠しながら逃げる様子が映っており、警察が捜査中であるという。被害額は総額11,000ペリーズドル(約81万円)相当であり、盗まれた品物を取り戻すため、情報提供を依頼している。

11月12日[強盗事件] 昼過ぎ、ベリーズ市の会社員が自宅の外で銃を突きつけられ、売上金約1,600ドル(約12万円)を盗られる事件が発生した。会社員がベランダで作業をしていたところ、背後から武装してきた男に襲われた。強盗は、Tシャツ、ショートパンツ、バイクのヘルメットを着用した男で、会社員が所持していた現金が入ったカバンを要求してきたとのこと。警察は、現場を確認し犯人のGPSを入手済みである。

11月17日[強盗事件] コロザルフリーゾーンにて現金強盗事件が発生した。警察は、強盗に関与していたとみられるベリーズ市出身の3人を拘束し、残りの2人の行方を追っている。また、警備員も協力したとして拘束されている。警察署に持ち込まれた現金は、総額400万ペソ以上(2億9千万円)で内訳が200米ドル(約3万円)、少額のペリーズドル、残りがメキシコペソだという。

[違法薬物、違法銃器等関連]

11月7日[規制薬物所持] コロザル町出身で漁師兼警備員の男性(59歳)が販売目的で大麻495グラムを所持していたため、1,685ドル(約12万2千円)の罰金が科せられることとなった。男性はキー・カーカーから3~4マイル離れた付近の海に浮かんでいるマリファナの小包を発見し、個人使用のため保管していたと主張。裁判官は当初4,000

ドル（約 29 万円）の罰金の検討をしていたが、男性が早期に有罪を認め、個人使用の説明をしたことから減刑とした。

11月15日[麻薬密輸関連（当館注目）] 早朝、カヨ郡のフランクス・エディ村にて麻薬を積んだと思われる単発機が発見された。警察長官によると、航空機は木曜の深夜に着陸していたが、警察が知らせを受けたのは9～10時間後だったとのこと。機内に貨物は積まれていなかったが、座席が見つからなかったことかえら、違法な貨物を積んでいた可能性が示唆されている。1人の女性警察官が航空機の着陸を支援した経緯で拘束されており、以前の事件の容疑者であるとされている。なお、貨物が合った場合は、ドローンと監視を回避するため、シブン川経由で運ばれた可能性がある。

[その他事件・事故関連]

11月15日[裏イミグレーション、違法薬物] ベリーズ市の食料品店の敷地内を警察が捜査したところ、無許可の22口径グロックピストル、弾薬及び大麻（推定9キログラム）を発見した。さらに、同食料品店の地下室に違法に外国人を入国させる作業を行っていたとみられる施設（裏イミグレーション）を発見した。施設内では、査証用の入国スタンプ数個、永住権の書類及び中国旅券数枚を発見。中国人に対し違法にビザが発給されていたと見られる。警察はこれらに関与していたとして、地元ギャング組織の男性3名（47歳、30歳、20歳）を逮捕した。3名の容疑者は銃器類、弾薬の違法所持及び麻薬密輸の罪で起訴されている。裏イミグレーションについての起訴は、詳しく捜査中であるため保留中である。

11月30日[行方不明事件] 今週初め、2人の男性タクシー運転手（32歳、37歳）が行方不明になる事件が発生した。2人の男性が最後に目撃されたのは11月27日の朝であり、連絡に返信が無かったことを不安に思った家族が翌11月28日に警察へ連絡し捜索が開始された。2人が借りたと思われる車が、フィリップ・ゴールドソン・ハイウェイでエンジンが作動している状態で発見されたが、車内に血痕が残されたのみで2人は見つからなかった。2人の捜索は現在も続いており、家族は引き続き情報を求めている。